

2009年
夏

第2回 小学校国語教育セミナー

主催：三省堂

2009年7月28日「第2回 小学校国語教育セミナー」を開催いたしました。

どのワークショップも、活発な交流とたくさんの学び合いが生まれました。参加者の声を紹介します。

詳しい内容は、三省堂のウェブページに掲載しています。（<http://www.sanseido-publ.co.jp>）

ワークショップ A

支え合ってつくる「書くこと」のカタチ

大杉 稔



- 自分で書いてみるとよくわかりました。また、すぐに取り組める内容で勉強になりました。

ワークショップ B

リテラチャー・サークルで広がる 読書の授業の楽しみ

足立 幸子



- 日頃の活動を意識的に行うこと・グループで読むことが方法化されているので、自分にもできるような気持ちになった。

ワークショップ C

「読むこと」の挑戦！－説明的文章の授業改革－

河野 順子



- 具体的な実践で大変勉強になりました。
- 批評型の読みが目からウロコでした。

ワークショップ D

笑いを誘う民話や 古典の語りと音読と群読と

高橋 俊三



- 教師としてあげられること、教師としてしまっていきることを振り返ることができました。

全体会

「PISA型学力」の 疑問に答える ～北川達夫先生とともに～

北川達夫（日本教育大学院大学客員教授・
北欧文化教育総合研究所所長）

対談

あまんきみこさん × 岡田淳さん

「ことばと、こころと、こどもと」



ワークショップ E

物語の森を仲間と歩けば

—読書へのアニメーション・僕らは物語探偵団—

岩辺 泰吏



- 実際に子どもになった気分で課題を体験でき、楽しく読書活動するということについて考えることができました。

ワークショップ F

賢治・南吉を読み直す

宮川 健郎



- ひとつの教材から、いろんな授業が生み出される楽しさと、意外さがあって、いいワークショップでした。

ワークショップ G

メディア・リテラシーを生かした授業改善 —新時代に求められる「読み書き能力」をどうやって育成するか—

中村 敦雄



- 意見交換の場がたくさんあり、とても刺激になった。
- 「言葉」「メディア」について、自然に考えが深まった。

ワークショップ H

「書くこと」の学びを支える 国語科書写の実践

松本 仁志



- 現場の問題点とともに、改善点と今後の課題がわかり、二学期からの授業に役立つと思います。